

科目名	幼児と人間関係			担当教員	真鍋 顕久	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	ED1CSR104
期待される学修成果	教科教育 態度					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験	相談援助職					
実務経験を生かした授業内容	相談援助職の経験を生かし、人間関係のあり方について講義する					
到達目標及びテーマ	子どもを取り巻く環境と「人間関係」について理解することができる。人間関係の構築において大切な要素について理解することができる。ライフサイクルのなかで最も早い時期である乳幼児期の人間関係の諸相を把握することができる。生涯発達における幼児期の重要性について述べることができる。					
授業の概要	本講義では、子どもを取り巻く環境の現状を把握したうえで、発達の過程における人と関わる力の育ちについて、次の4点を踏まえながら説明する。第1は、学生自らの人間関係を通して考える。第2は、「発達」を子ども自身が体験することとして考える。第3は、発達を関わりからとらえる。第4は、子どもを支えるという人や物とのかわりについて考える。 【デジタル技術利用 該当番号：① ④】					

授業計画	
第1回	人間関係とは
第2回	人間関係を構築するには（人間関係での緊張をときほぐす手法について考える）
第3回	人間関係を構築するには（アイスブレイキングの実践）
第4回	円滑な人間関係を築くための大切な要素
第5回	人と関わる力の発達① 家族や地域とのかわりについて学ぶ。
第6回	人と関わる力の発達② 遊びや生活のなかでのかわりについて学ぶ。
第7回	乳幼児期の認知的発達
第8回	子ども同士のいざこざへの支援
第9回	遊びにおける人間関係① 子どもにとっての遊びとは
第10回	遊びにおける人間関係② イメージの共有
第11回	遊びにおける人間関係③ 協同的活動
第12回	遊びにおける人間関係④ ルールを守ること
第13回	幼児同士の人間関係の構築を意識した保育者のかわりについて考える（簡易の指導案の作成）
第14回	幼児同士の人間関係の構築を意識した保育者のかわりについて考える（グループ協議、発表）
第15回	乳幼児を取り巻く人間関係と環境の現代的課題

事前学修	0.5時間	授業後、次の授業に関する学習についてその都度指示する。
事後学修	0.5時間	授業で学んだことの整理してまとめる。必要に応じて課題を与える。
フィードバックの方法	Eメール等で質問を受け、回答し、個別指導を行う。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		40%	幼児と人間関係についての実践的な視点からの課題を与える
上記以外の試験・平常点評価		60%	授業への積極的な参加姿勢を評価する
定期試験		0%	実施しない
補足事項			

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
人間関係ワークブック	田村美由紀、室井佑美	萌文書林	978-4-89347-262-5	なし
参考資料	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 その他、授業において適宜資料を配布する。			